



第 40 号

発行日 令和七年十月二日
 発行所 鎌倉女学院尚綱会
 発行責任者 川島 延子
 所在地 〒248-0014 鎌倉市由比が浜二・一〇・四
 電話 (〇四六七) 二五・二二〇〇
 印刷所 (有)うさぎや印刷

鎌倉女学院とのご縁に思うこと

鎌倉女学院中学校高等学校

監事 高嶋 薫



昨年六月から当法人の監事を務めております。尚綱会の皆様には、どうぞよろしくお願い申し上げます。

監事のお話をいただきました時、私はこのご縁に大変驚きました。

偶然なのですが、私の母、そしてその五人の姉（私の伯母）は当校の卒業生だったのです。六人の姉妹の最年長は高女十七回生、最年少の母は高女三十一回生でした（旧姓は高木）。

六人が当校で学び、そして卒業したのは、大正から昭和へと入ったその後二十年間のことでした。日本は経済不況、そ

して戦争へ進み終戦に至る時代でした。当時はまだ結核が不治の病と言われており、年長の二人の伯母は当校を卒業後、二十代半ばで亡くなりました。続く伯母達には思い描く仕事に就く夢もあったようですが、まだまだ容易ではない時代でした。最年少だった母は在校していた時期が太平洋戦争と重なり、勤労動員などと思う存分勉強することができなかったと話していたことを覚えています。

そうした時代ではありましたが、当校で女学校時代を過ごした伯母や母達は、心から慕う恩師と出会い、その後ずっと交流が続くことになる多くの友人達にも恵まれ、また鎌倉中の史跡を巡り歩いた思い出を楽しそうに語るなど、幸福な時間を過ごしたのだらうと思います。

また、いここからは、伯母達は鎌女で、そして鎌倉の地で学んだことを誇りにしていただけではなく、「鎌女は卒業後もずっと心の支えだった」と言っていた、とも聞きました。

卒業してもいつまでも、「心の支え」



旧校歌（明治44年制定）

といえる学校を心に持ち続けることができる。その学校は人生の宝物でしょう。本校は、ぜひいつまでも、卒業生からそう思われ続ける学校であってほしい、と心から願っています。

時は移り、学校での会議を終えた私は鎌倉駅へと向かいます。帰宅する多くの生徒達が歩いていることもあります。そんな時、私には伯母や母の声が聞こえます。「私達の大切な後輩のために、あたたかしつかりおやりなさいよ」と。

由比が浜辺よ鶴が岡
 ながめはつきぬ山の水
 色かぐわしく残る跡
 といで開かん我が悟り

作詞 山内淳吉

作曲 小林錠之助

ご挨拶

尚綱会会長 川島 延子
(高校15回)



会員の皆様におかれましては、お健やかにお過ごしのことと存じあげます。

平素は、尚綱会にご支援・ご協力・ご理解を賜りまして誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

本年は役員改選の年です。3月に行われました指名委員会のご推薦をいただき、尚綱会の会長職をお引き受けいたしました。歴史と伝統のある尚綱会の会長という大役をお受けするにあたり、戸惑いと不安でいっぱいでしたが、役員の皆様のご力強い励ましをいただき、一歩前へあゆみを進める決心をいたしました。歴代の会長様方の足元にも及びませんし、自分の未熟さ、力不足は重々承知いたしておりますが、謙女が好き、尚綱会が好きという思いを新たに心にきざみ、微力ではございますが努力いたしてまいります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

前会長の梅澤様は学院そして尚綱会を

とても大切にされました。お仕事には厳しく、何事も慎重に丁寧に取り組むお姿に接し尊敬いたしておりました。今日の揺るぎない尚綱会の基盤を築かれました。ご一緒に携わった年月は私の宝物です。この教えをしつかりと守り、次世代に継げ学院に寄り添い同窓の輪を拡げ、務めてまいります。これまでつつがなく尚綱会の運営ができましたのは、杉山理事長はじめ、学院の諸先生方、事務局の先生方の多大なご支援とご協力のおかげと有難く感謝申し上げます。

本年度も163名の新会員の皆様をお迎えいたしました。田辺新之助先生が「尚綱会」と名付けられてから総勢一五〇〇〇名余りの会員数となりました。益々発展されることを願うばかりです。令和7年6月19日(木)鎌倉プリンスホテルに於いて尚綱会総会が開かれました。ご来賓の皆様のご出席を賜り開催できましたこと御礼申し上げます。又、26回生の吉野邦子さんの「歌とお話」の公演では、最後に全員の合唱で締めくられ無事に終了致しました。

これからは、新役員と共に力を合わせ尚綱会の発展のために力を注いでまいりますので皆様のご支援、ご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



新役員紹介

令和7年度任期 令和7年4月1日より
令和9年3月31日まで

会長	川島 延子 (高校15回)	新任
副会長	岩崎 潤子 (高校26回)	新任
副会長	有賀 真由 (高校34回)	新任
経理	神代 紀子 (高校40回)	再任
書記	石賀 郁恵 (高校37回)	再任
監事	坂井 恵 (高校15回)	再任
監事	郷原由美子 (高校23回)	再任
鎌倉女学院より任命された尚綱会役員		
理事長・尚綱会事務担当責任者		

事務担当者 杉山美智子 (高校11回)
工藤 由希 (高校61回)



令和7年度 新役員集合写真

総会開催

令和7年6月19日(木)
於 鎌倉プリンスホテル

一部

開会の辞 小澤美由紀(高校31回)
来賓紹介

新役員選出報告 新役員紹介

新会長挨拶 川島 延子

理事長挨拶 杉山美智子

来賓挨拶

令和6年度 事業報告・会計報告

令和6年度 監査報告

令和7年度 事業計画・予算について

校歌斉唱

閉会の辞

懇親会

三部 歌とお話

武江 和子(高校22回)

吉野 邦子(高校26回)



令和7年6月19日(木)鎌倉プリンスホテルにおいて尚綱会総会が開催されました。第一部では杉山理事長はじめ来賓の方々のご出席を賜り、各議事が承認されました。第二部の懇親会では味はもちろん見た目にも楽しめ季節感溢れる美味しいお食事を頂きながら、同期や先輩・後輩と懐かしい鎌女の話に花が咲きました。第三部では、吉野邦子さんによる楽しい歌とお話に耳を傾けました。音大ご卒業の吉野さんはご自身でもミュージカルの作曲をされており、宮沢賢治の詩をもとに作曲したもののやオズの魔法使いへのオマージュの曲を披露されました。最後は「浜辺の歌」・「ふるさと」を全員で合唱し閉会となりました。総会では、友達や部活でお世話になった先輩・後輩にも会えるかも知れません。皆様のご参加をお待ちしております。

小澤美由紀(高校31回)

鎌倉女学院 尚綱会総会 演奏プログラム

歌とお話 吉野 邦子(26回生)
ピアノ 橋 美和子

1. チレア「アドリアーナ・ルクブルール」より
『私は創造の神の下僕』
2. ロッシーニ 『約東』
3. レハール「メリー・ウィドー」より
『ヴィリアの歌』
4. 同 『高鳴る調べに』
5. 宮沢賢治 『星めぐりの歌』
6. 吉野邦子 ミュージカル作品より
『ふたごの星』
7. 同 『田ニモ負ケズ』
8. 同 『銀の靴』
9. ガーデン「七里ヶ浜の哀歌」(真白き富士の嶺)
10. 浜辺の歌(全員合唱)
11. ふるさと(全員合唱)

